

ワールドステイクラブの旅 報告

横浜みなとみらい散策と中華街でグルメ

企画委員会



横浜は、江戸から明治の文明開化時代から文物の先進地域としてみんなの憧れでした。現在の横浜は、その当時の貴重な文化を残しつつ新しいモダンな姿に変身しています。みなとみらいのエリアでは、いろいろな魅力を体験することができました。そして、横浜といえば中華街です。散策の締めは、世界の食文化の旗頭とも言える中華街でグルメを堪能しました。横浜の魅力を、“ブレイン”と“フィジカル”の両方でたっぷりと堪能しました。

この企画のリーダーは、横浜が地元の星俊臣会員です。地元で根付いた方ならではの案内がありました。特に、中華はリーダーが永年お付き合いのあるお店で、いろいろと美味なる料理を賞味することができ、満腹での締めとなりました。天候に恵まれ、快適な終日が楽しめたツアーでした。

日時：2023年9月29日（金）日帰り
時間：集合 JR 桜木町駅南改札 10時30分
解散 現地 18時30分頃

リーダー：H 会員

順路集合＝桜木町駅南改札 ⇒ 日本丸内覧 ⇒
横浜みなと博物館 ⇒ エアキャビン ⇒ 昼食 ⇒
海上保安庁横浜資料館（北朝鮮の船） ⇒
赤レンガ倉庫 ⇒ ”赤い靴バス”（Suica 使用可） ⇒
中華街散策 ⇒ 夕食（龍華楼） ⇒ 関帝廟見学 ⇒ 解散

体験：都市型ロープウェイ 空中散歩
（ヨコハマエアキャビン）桜木町駅南～横浜ワールド
ポーターズ前 5分間空中散歩（片道千円）

距離：歩数1万3千歩

参加者 20名

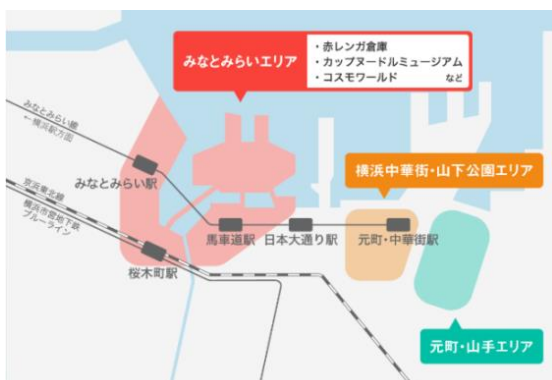
費用：日本丸・横浜資料館 600円、
ヨコハマエアキャビン 1,000円、赤い靴バス 220円、
龍華楼 5,000円、昼食、飲物代、現地往復交通費



帆船日本丸 国の重要文化財

JR 桜木町駅から動く歩道で移動し、日本丸に到着です。日本丸は 1930（昭和 5）年に建造された練習帆船で、1984（昭和 59）年まで半世紀を越えて活躍し、1 万名を超える実習生を育て、航海距離は地球 45 周、距離(183 万 km)だそうです。

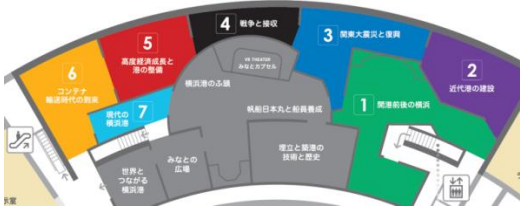
1985（昭和 60）年からは、みなとみらい 21 地区の石造りドックに現役当時のままの状態でも保存されていました。船内の様子が見られ貴重な経験でした。日本丸は帆船ですので、帆（セイル）は 29 枚あるそうです。見学時には帆はたたんでありましたが、帆を広げた姿は、貴婦人の名にふさわしい優雅な帆船の姿だろうと想像しました。



出発前 JR 桜木町南改札 WSC ご一行様

横浜みなと博物館

日本丸に隣接するのが、横浜みなと博物館です。「歴史と暮らしの中の横浜港」をテーマにして、ビデオや各種資料が展示されていました。



江戸末期からの横浜港の歴史を 7 時代に分けて展示してありました。開港前の吉田新田や横浜村の時代、ペリー来航、大棧橋建設、客船の黄金時代、戦中・戦後の横浜港、コンテナ船の登場、現代の横浜港まで資料や画像などで紹介してありました。

ペリー来航のジオラマはスクリーンに場面が展開する迫力と緊迫感があるものでした。



船の絵で知られる柳原良平の常設展示場「柳原良平アートミュージアム」が目を見ました。



都市型ロープウェイ エアキャビン

空中散歩と洒落こみました。都市型循環式ロープウェイで、JR 桜木町駅とワールドポーターズとを結んでいました。エアキャビン（ゴンドラ）内は、冷房完備で、9月末のこの時期にしては暑く、体感 30 度を超える気温でしたが、内部は快適でした。

エアキャビンのガラスは外側がコーティングしてあり、中からは外がよく見えますが、外からはキャビンの中は見えにくくなっています。

近代的高層建物を眺め、クラシックな赤レンガ建物、運河、そして港を上空から見る素晴らしい体験で、片道 5 分 1,000 円の眺めは、満足するものでした。



海上保安庁資料館横浜館

赤レンガ倉庫から海に向かってほんの少々歩いた所がありました。日本の周辺海域の現状と海上警備の重要性を学びました。2004 年の開館だそうです。このような資料館は、広島島の呉にもあるとの説明でした。国の安全確保を再認識しました。



北朝鮮工作船展示場

平成 13 年 12 月 22 日九州南西海域で不審船が発見されました。巡視船・航空機で追尾中に自動小銃・ロケットランチャーで反撃され、海上保安庁の巡視船が対抗し、不審船は自爆沈没しました。その船を引き上げ展示していました。北朝鮮の工作船です。

実物の展示と現場の状況説明資料、そして係の方の説明で、その時が緊迫感をもって伝わってきました。



赤レンガ倉庫

元は倉庫で、リノベーションを経てオシャレなスポットになっていました。明治末から大正期にかけて国の模範倉庫として建造されたもので、赤レンガ造りが特徴です。1 号館と 2 号館があり各種のお土産ショップが、そしてグルメ店が覇を競っていました。

二つの建物の間の屋外では、ドイツのホブブロイハウスのビール祭りオクトーバーフェストが開かれていました。本場のビールを求める人たちの長蛇の列ができていました。

ここに限りませんが、横浜の地には外国からの観光客が多かったのが印象的でした。



栈橋の大型クルーズ船

ダイヤモンドプリンセス号が、停泊していました。みなと横浜の橋と船は、まさに絵になります。



赤い靴バス

横浜市営の赤い靴バスに、赤レンガ倉庫から乗車しました。バスはレトロ調の赤、横浜に因んだ童謡赤い靴をイメージして命名されたそうです。

赤い靴バスのナンバープレートはすべて150です。なぜか？それは、横浜開港150周年を記念して走り始めたからだそうです。

「中華街」という停留所で降りましたが、中華街の市場通りのすぐ近くでど真ん中でした。



中華街の賑わい

というか観光客での雑踏と混雑の見本でした。活発な観光客のエネルギーと、これをチャンスとして迎え入れるお店のパワーの連続展開でした。

赤い靴バスを降りて散策した市場通り、夕食の中華料理を堪能して散策した中華街のメインストリート、いずれも人、人、・・・でした。



龍華楼 広東・四川料理

本日のお目当て中華料理グルメです。この飯店は、メインの通りの脇の道を入ったところにあり、大きすぎず小さすぎずの構えでした。

リーダーの星さんの御舅眞のお店で、たくさんの種類の料理が次々に卓に出てきて、量と味をたっぷり堪能しました。料理はお任せで、定番のピータン、海老、レンコン、麻婆豆腐、チャーハン、水餃子などなどでした。

デザートは、杏仁豆腐でした。ジャスミン茶の香りが高いのに驚きました。リーダーの「顔」のおかげでビールや紹興酒をたっぷりいただけ、一同感謝です。



関帝廟

中華で満腹後、関帝廟を見学しました。ライトアップされた姿は、異国の趣たっぷりでした。ここで解散し、お別れしました。



みなとみらい地区（通称ハンマーヘッド）はグルメ街でした。この写真の看板が雄弁に物語っています。



ショッピング

三々五々お好みのショッピング、メインはブタまんでした。定番の江戸清でのお買い上げです。



横浜散策と中華街グルメのツアーを終えて

ワールドステイクラブの会員が、健脚と健啖を發揮し、終日、健康的によく歩き、よく食べました。充実した思い出に残る一日となり、リーダーの企画に感謝でした。



横浜散策でのいろいろ

JR 桜木町駅は、日本の鉄道発祥の地です。この駅の構内の柱にその当時の写真の展示がありました。



日本丸の中に展示されていた、いろいろなロープ結びの展示です。当時の帆船では、ロープの扱いが重要なスキルでしたので、結びの種類が用途に応じて多種多用であったのがよくわかりました。



赤レンガ倉庫が近代高層建築をバックにした存在感は、ありありの風景です。



リーダーから
ご参加のみなさまへ

(神奈川県横浜市)

リーダーからの反省

皆様「横浜散策とグルメ探訪」にご参加くださいましてありがとうございます。当初の計画ではご観光いただいたところ以外に、赤レンガ倉庫から歩いて大棧橋の観光、そこから中華街まで散策を楽しんでいただくつもりでいたのですが、実際試歩してみると結構の距離となり大変なので、勝手ながらその工程は省略させていただきました。それでも相当歩きお疲れになられたことと申し訳なく思っております。しかしながら大型船が入港しており、横浜港の景色も概ね観ることもできましたし、普段は乗らない赤い靴バスも利用できましたのでご堪能頂きたく思います。

中華街探訪は時間もなく、最後には雨になり十分な堪能にはなりませんでしたが、少なくとも雰囲気は昔を思い出す程度にはなれたのではないかと思います。龍華楼の料理は如何でしたでしょうか？

実は横浜には一般にはそんなに知られていない旧跡もまだまだあります。皆様また横浜を訪れる機会がありましたら、今回行けなかったところの他、横浜観光案内を見てそれらを楽しまれることをお勧めいたします。皆様ほんとうにありがとうございました。そしてご苦労様でした。